CADMAS-MGプログラム計算チュートリアル

演習テーマ: 孤立波の壁面衝突実験の再現

中央大学 海岸•港湾研究室

1.本チュートリアルの内容およびフロー

CADMAS-MGプログラムを用いた数値解析の実施方法について、チュートリアル形式で学ぶものである

実施の流れは、以下のとおりである。

入力データ の作成

- 障害物データの作成
- 格子データの作成
- data.inの作成

計算実行

- envファイル, mtbファイル, shファイルの準備
- 計算実行

計算結果の 確認

- listファイルの確認
- tranファイルの確認
- grpファイルの確認

2.障害物データの作成

ここでは、障害物データを作成する方法について説明します.

数値計算を行うにあたり、まず、解析領域内に配置する障害物のデータを作成する必要があります.

1-1. 使用するソフトウェア

構造物データの作成には、「SketchUp」を使用します.

このソフトウェアを使用して、STLファイル(三次元形状データ保存フォーマット)を作成することができます.

次の作業「CADMAS格子ファイルの作成」で、このSTLファイルに記憶された三次元の障害物

データを利用します.

1-2. 手順

※断面実験の数値計算の場合を前提に説明します.

SketchUpにて障害物データをSTL形式でエクスポートします.

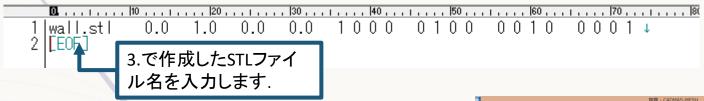
3.CADMAS-MESHによる入力データの作成

1. STファイルの準備

STLファイルをCADMAS-MESHに読み込む場合、領域内での障害物の配置位置などを定義したSTファイルが必要です。STファイル内に、STLファイルごとの空隙率、領域内での配置位置などの情報を入力します。

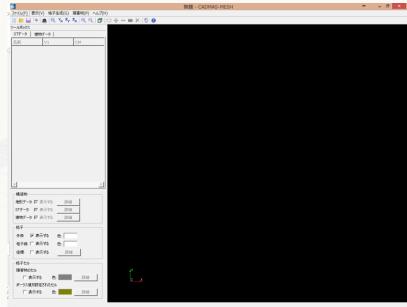
STファイルのフォーマットファイル名空隙率拡大率慣性力係数抵抗係数移動回転の4*4のマトリックス

本計算での入力例を示します.

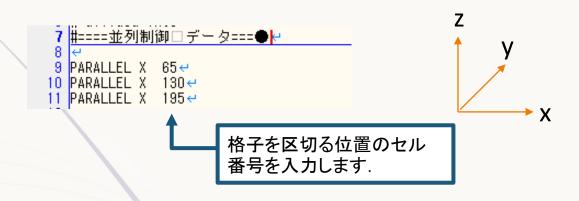


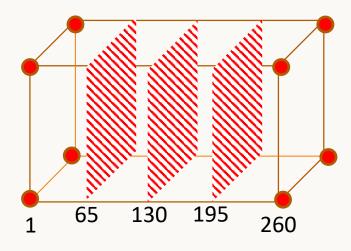
2. ソフトウェアの起動 CADMAS-MESHを起動します.

CADMAS-MESHの詳細な使用方法はマニュアルをご参照ください。



2. 並列制御データの設定 どのように領域の分割をするかを設定します。 領域を4つに分割するときの例を示します。





- 3. 時間制御データの設定 計算の時間刻みや、解析時間の設定をします. 計算の時間刻みに関して、
 - ①初期値 ②安全率 ③最小値 ④最大値 解析時間に関して,
 - ⑤最大ステップ数 ⑥解析終了時間 をそれぞれ設定してください.

```
14 #==時間制御□データ===● ゼ

15 ゼ

16 TIME AUTO 1.0D-5 1.0D-1ゼ

17 TIME LIMIT 1.0D-5 1.0D0ゼ

18 TIME END 999999 15ゼ

TIME __AUTO __初期値 __安全率
```

TIME _ AUTO _ 初期値 _ 安全率
TIME _ LIMIT _ 最小値 _ 最大値
TIM _ END _ 最大ステップ数 _ 解析終了時間
を入力します.

- 物性値等データの設定 流体,また重力の物性値について設定します. 流体に関して,
 - ①初期水位 ②水の密度
 - ③水の動粘性係数
 - 重力に関して、 4 重力加速度
 - をそれぞれ設定してください.

MATE W-LEVEL 1.00 1000.0 で 1000.0 で 1.00 - 6 で 9.8 で MATE GRAVITY 9.8 で MATE GRAVITY MATE L. W-LEVEL 一初期水位 MATE L. DENSITY 一水の密度 MATE L. K-VISC L. 水の動粘性係数 MATE L. GRAVITY L. 重力加速度 を入力します.

20 #===物性値等□データ===● ←

- 5. 造波モデルデータの設定造波条件について設定します。①造波関数 ②水深 ③波高 ④周期⑤何周期かけて増幅するかをそれぞれ設定してください。
 - 造波関数 FUNC MATRIX: マトリックスデータ(.mtb)を使用 方向 X-: x座標最小位置から法線方向へ

```
28 #===造波モデルロデータ===●ゼ
29 ゼ
30 MODEL WAVE-BC X- FUNC MATRIXゼ
31 MODEL WAVE-BC X- DEPTH 1.0ゼ
32 MODEL WAVE-BC X- HEIGHT 1.0ゼ
33 MODEL WAVE-BC X- PERIOD 15.0ゼ
34 MODEL WAVE-BC X- AMPL 0.0ゼ
```

```
MODEL_WAVE-BC_方向」造波関数
MODEL_WAVE-BC_方向_DEPTH_水深
MODEL_WAVE-BC_方向_HEIGHT_波高
MODEL_WAVE-BC_方向_PERIOD_周期
MODEL_WAVE-BC_方向_AMPL」何周期かけて増幅するかを入力します.
```

- 6. 数値解法関連データの設定
 - ①MILU用パラメータ ②最大反復回数
 - ③収束誤差(絶対誤差) ④収束誤差(相対誤差)
 - ⑤移流項の差分スキームパラメータ をそれぞれ設定してください.

```
44 #===数値解法関連ロデータ〇ゼ

45 せ

46 COMP MTRX M-ILUBCGSTAB 0.95ゼ

47 COMP MTRX MAX-ITR 500ゼ

48 COMP MTRX A-ERROR 1.0D-12ゼ

49 COMP MTRX R-ERROR 1.0D-10ゼ

50 COMP SCHM VP-DONOR 1.0ゼ

51 COMP SCHM FF-SLOPEゼ

52 ピータ
```

```
COMP _ MTRX _ M-ILUBCGSTAB _ MILU用パラメータ
COMP _ MTRX _ MAX-ITR _ 最大反復回数
COMP _ MTRX _ A-ERROR _ 収束誤差(絶対誤差)
COMP _ MTRX _ R-ERROR _ 収束誤差(相対誤差)
COMP _ SCHM _ VP-DONOR _ 移流項の差分スキームパラメータ
COMP _ SCHM _ FF-SLOPE
を入力します.
```

- 7. 境界条件データの設定 流速や圧力、VOF関数の境界条件を設定します. 数値水槽の全体境界に関して,
 - ①流速・圧力の境界条件
 - ② VOF関数Fの境界条件 をそれぞれ設定してください.

```
1378 #===境界条件データ===● ゼ
1379 ゼ
1380 B.C. D VP SLIPゼ
1381 B.C. D F FREE ゼ
```

B.C._D _ 流速・圧力の境界条件 B.C._D _ VOF関数Fの境界条件 を入力します.

- 8. 出力ファイル制御の設定
 - (1)図化ファイル出力制御の設定
 - ①出力開始時刻 ②出力終了時刻
 - ③出力時間間隔をそれぞれ設定してください.

FILE GRP TIME 出力開始時刻 出力終了時刻 出力時間間隔を入力します.

1440 FILE

TRN

TRN

POINT

POINT

 $29 \leftarrow$

30**k**-

250

- (1) 時系列ファイル出力制御の設定
 - ①出力開始時刻 ②出力終了時刻
 - ③出力時間間隔
 - ④出力する物理量 ⑤x方向セル番号
 - ⑥ y方向セル番号 ⑦ z方向セル番号 をそれぞれ設定してください.

```
1412 |||===時系列ファイル出力制御データ===● ←
1414 #FILE TRN STEP
1415 FILE TRN TIME
                          0 15
                                 0.1 🗠
1418
1419 FILE
              TRN
                    POINT
              TRN
                    POINT
                                  250
1420 |FILE
                                              9 🕶
     FILE
                    POINT
             TRN
                                              10 ←
| 422 | FILE
              TRN
                    POINT
                                              11 ←
                                  250
1423 |FILE
              TRN
                    POINT
                                              12 ←
1424 FILE
             TRN
                    POINT
                                              13 ←
1425 FILE
                                              14←
              TRN
                    POINT
1426 FILE
                                  250
              TRN
                    POINT
                                              15 ←
1427 FILE
                                  250
             TRN
                    POINT
                                              16 ←
1428 FILE
              TRN
                    POINT
                                              17 ←
                                  250
              TRN
                    POINT
                                              18 ←
              TRN
                    POINT
                                   250
                                              19 ←
                    POINT
                                              20 🕶
              TRN
                    POINT
                                  250
              TRN
                                              21 \leftarrow
                                  250
              TRN
                    POINT
                                              22 <del>< '</del>
              TRN
                    POINT
                                              23 🕶
                                  250
              TRN
                    POINT
                                              24 \leftarrow
              TRN
                    POINT
                                   250
                                              25 \leftarrow
437 FILE
                                              26 <
              TRN
                    POINT
1438 FILE
                    POINT
                                  250
                                              27 ←
              TRN
1439 FILE
                    POINT
                                  250
                                              28
             TRN
```

```
FILE _ TRN _ TIME _ 出力開始時刻 _ 出力終了時刻 _ 出力時間間隔
FILE _ TRN _ POINT _ 出力する物理量 _ x方向セル番号 _ y方向セル番号 _ z方向セル番号
を入力します.
```

5.計算の実行

- 1. 計算に必要なファイルの準備
 - (1)data.in 5で作成
 - (2) data.env コマンドファイル
 - (3) data.mtb 任意の造波モデルが記載されたファイル
 - (4) mg_shell.sh
- 2. 計算実行

6.計算結果の確認

- 1. listファイルの確認
 - (1)解析におけるステップ数、解析時間、時間刻み、反復回数等をそれぞれ確認できます.

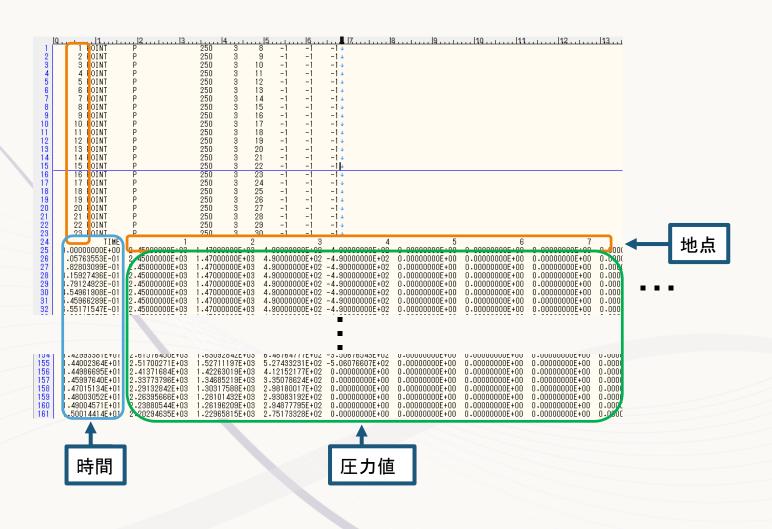
```
3.32689E-03 : FSUM= 2.13870E+01 : FCUT= -1.62350E-16 : !VD!= 3.40766E-02 +
     STEP= 2787 : TIME= 1.26733E+01 : DT =
                         3.81295E-02 : !R! =
                                               7.04230E-13 : ITR =
                                                                       30 4
7703
7704
                          1.26766E+01 : DT
                                               3.33747E-03 : FSUM= 2.13870E+01 : FCUT= 2.65340E-16 : !VD!= 3.34169E-02 •
7705
                         1.06107E-02 : !R! =
                                               9.30020E-14 : ITR =
                  : !B! =
                                                                       30 4
7706
            2789 : TIME=
                         1.26800E+01 : DT
                                               3.33105E-03 : FSUM= 2.13870E+01 : FCUT= 2.71456E-15 : !VD!= 3.33063E-02↓
7707
                         7.37033E-03 : !R!
                                                                       28 4
7708
                          1.26833E+01 : DT =
                                               3.30667E-03 : FSUM=
                                                                    2.13870E+01 : FCUT= 7.67666E-16 : !VD!=
     STEP=
            2790 : TIME=
                          2.88531E-03 : !R! =
                                               2.03514E-13 : ITR =
                                                                       28 4
7709
```

(2) 最下部で計算が正常に終了したかの確認ができます.

```
9122
9123
     ## <<FLOW>>> +
9124
9125
    ##
        TOTAL
                                        118.45 +
         +-- PRE PROCESS
                                          0.17 +
                                        118.28 +
         +-- CALCULATION
9127
              +-- FILE I/0
                                          1.51
              +-- VELO & PRES
                                         83.284
9129
9130
                   +-- CONV & VISC
                                          2.88 4
                   +-- GENERATION
                                          1.054
9131
                   +-- INTEGRATION
                                          3.96 +
                   +-- POISSON COEF
                                          3.034
9133
                   +-- POISSON SOLV
                                         66.38 4
9134
                   +-- V & P MODIF
                                          1.21 +
9135
                   +-- E.T.C.
                                          4.78
                  TEMPERATURE
                                          0.004
                  CONCENTRATION
9138
              +-- K-EPSIRON
                                          0.00 +
9139
                  VOF FUNCTION
                                         29.29 4
9140
                   +-- CONVECTION
                                          4.58
9141
9142
                   +-- INTEGRATION
                                          1.49 +
                   +-- MODIF & CUT
                                          0.91 +
     ##
9143
                   +-- NF & T-DOOR
                                         17.51 4
9144
                   +-- E.T.C.
                                          4.80 4
9145
              +-- E.T.C.
                                          4.19 4
         +-- E.T.C.
                                          0.004
9147
9148 ## <<ROUTINE>>↓
9149 ## +-- VF_P****
         +-- VF_P****
                                         42.064
9150
         +-- VF M1BCGS
                                         66.234
         +-- VF FDROPF
                                         13.65 4
```

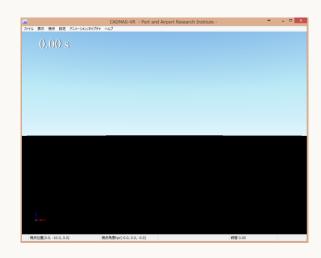
6.計算結果の確認

2. tranファイルの確認 5-8-(1)で設定したセル(壁前面)における時系列圧力値が出力されています.



6.計算結果の確認

 grpファイルの確認 計算結果の可視化をします。
 (1)ソフトウェアの起動 CADMAS-VRを起動します。



(2)ファイルの読み込み grpファイルを読み込みます.

CADMAS-VRの詳細な使用方法はマニュアルをご参照ください。